

横浜総合病院を受診された患者さんへ

横浜総合病院（リハビリテーション科）では、以下の研究を実施しております。  
研究の対象者となる方（または代理人）で、この研究について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は下記の問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名：「青春期野球選手における前屈型腰痛と後屈型腰痛における股関節可動域の  
関係調査」

所属（診療科）：リハビリテーション科

研究責任者（職名）：福島隆史

研究の目的：

骨端線閉鎖前のスポーツ選手は、未成熟のため多くの障害を抱えながらスポーツ活動を継続している。特に、脊柱の屈曲、伸展、回旋を繰り返している野球選手は、腰痛を抱えやすいと諸家による報告がある。

腰痛は前屈型腰痛と後屈型腰痛の2つに大きく分類される。今回、野球を実施している前屈型腰痛と後屈型腰痛の股関節可動域を調査することにより、身体特性を把握し理学療法介入に向けた所見を得る。

研究内容：

- ・ 対象となる方…2016年4月から2018年3月に当院スポーツ整形外科を受診し腰椎椎間板ヘルニア、筋・筋膜性腰痛、腰椎疲労骨折と診断され理学療法を実施した12～18歳の野球選手。
- ・ 研究に利用する情報等…診断名、年齢、性別、検査結果、治療に関する情報等。
- ・ 研究方法…診療録から抽出したデータを用いた後方視調査
- ・ 利用する研究機関の範囲…横浜総合病院

個人情報の取り扱い：

利用する情報からは氏名や住所等の個人を特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ先：

- ・ 研究者代表：福島隆史
- ・ 所属 リハビリテーション科
- ・ 電話番号 045-902-0001
- ・ FAX 045-903-3098
- ・ 受付時間 平日9：00～17：00